

FUJITEC

証券コード:6406

フジテック株式会社 第69期

中間報告書

2015年4月1日～2015年9月30日

Grow Together!

Yes, Fujitec Can



チルドレンズ・ホスピタル・オブ・フィラデルフィア(米国)

3カ年中期経営計画の 最終年度目標を達成します



代表取締役社長 内山 高一

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃より当社事業へのご理解とともに、厚いご支援を賜り心より感謝いたします。
第69期中間期(2015年4月1日～2015年9月30日)の当社を取り巻く
事業環境と連結業績、配当についてご報告いたします。

CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結決算情報I	2
主な活動概況	3
トピックス	5
CSR	6
連結決算情報II	7
株式の状況	9
企業データ	10

cover story

“チルドレンズ・ホスピタル・オブ・フィラデルフィア”は、世界で有数の医療施設を誇る小児科病院です。増設された新病棟では、フジテック製のエレベータが館内の移動を支えています。

緩やかな中国昇降機市場の拡大

当社を取り巻く事業環境は、世界経済を牽引してきた中国経済の減速が、各国経済に影響を与える中、昇降機業界におきましては、世界最大の市場であります同国の新設需要台数の伸びが緩やかになってきました。北米では、米国を中心に新設需要が堅調に推移。南アジアでは、新興国の新設需要が伸び悩みました。一方、日本におきましては、マンション販売が持ち直しつつありますが、建設費上昇により建設を先送りする動きも見られました。

東アジアが牽引

当社の第69期中間期の連結業績は、売上高・営業利益・経常利益ともに過去最高でした。日本は新設事業、モダンゼーション事業が増加。東アジアは、中国の影響があったものの、香港などでの新設事業における採算の改善から増益になりました。南アジアはアフターマーケット事業の収益が拡大。北米においては、新設事業の拡大と採算の改善が奏功した一方、欧州は低調に推移しました。当社グループは引き続き、さらなる収益の向上を目指し、まい進していきます。

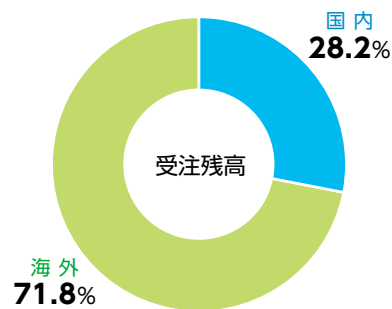
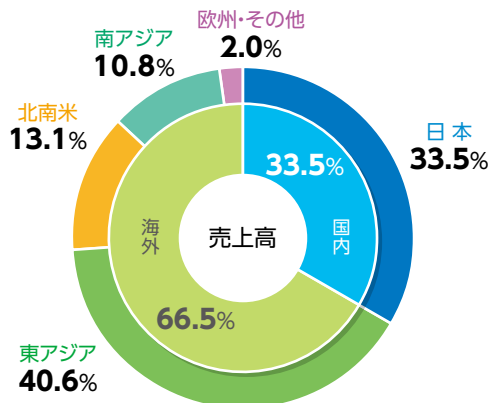
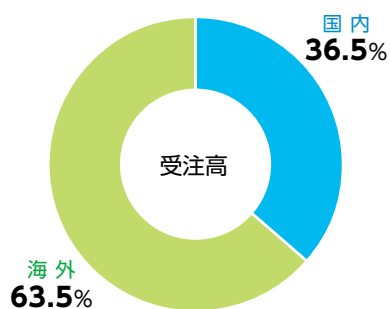
株主の皆様へ

中間期の配当は期初計画通り1株当たり前年同期比3円増額の15円とさせて頂きました。当期は3カ年中期経営計画の最終年度です。目標の達成に向け、全社一丸となって取り組んでおります。引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

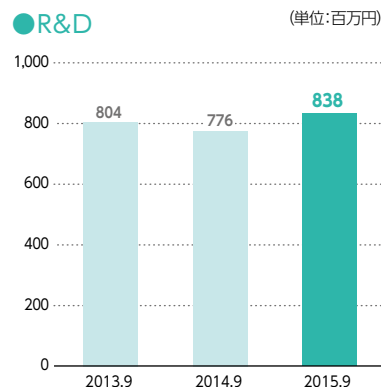
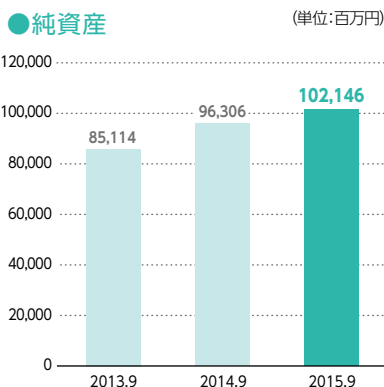
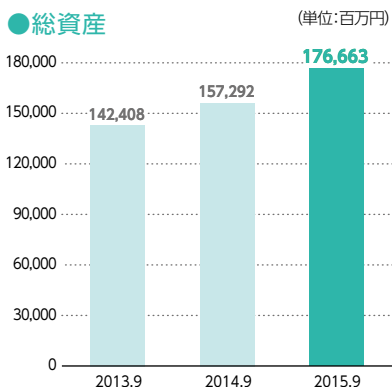
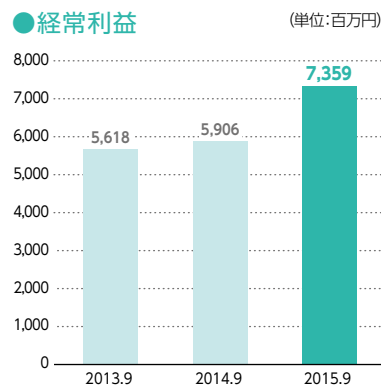
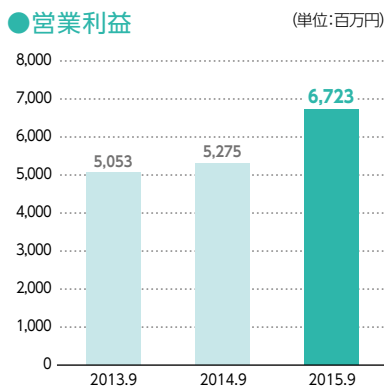
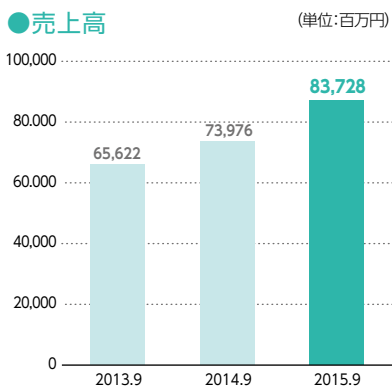
連結決算情報 I

(2015年4月1日～2015年9月30日)

▶ 営業の状況



▶ 業績の推移



グローバルに広がり続けるフジテックブランド

都市の集積化によって建物が高層化している現在、私たちの生活においてエレベータ・エスカレータは必要不可欠な社会インフラになっています。フジテックは快適で“安全・安心”な商品をご提供するために、日々、さらなる品質の向上に努めています。



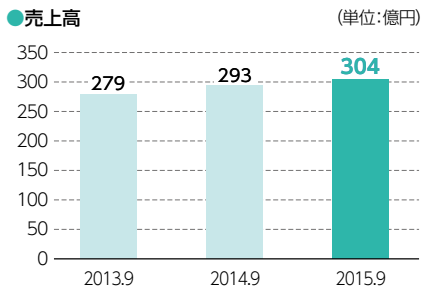
シャングリ・ラ ホテル南昌(中国)

日本

日本では東日本・西日本ともに、大型プロジェクトの受注や完成がありました。東京では“(仮称)松坂屋上野店南館建替計画”のエレベータ・エスカレータ計30台を受注。また、“帝京大学八王子キャンパス”の新校舎にエレベータ・エスカレータ計38台を納入しました。一方、大阪では、複合施設“梅田1丁目1番地計画ビル(仮称)”のエレベータ・エスカレータ計23台を受注。同じく大阪の“市立吹田サッカースタジアム”にエレベータ7台を納入しました。



帝京大学八王子キャンパス(東京)

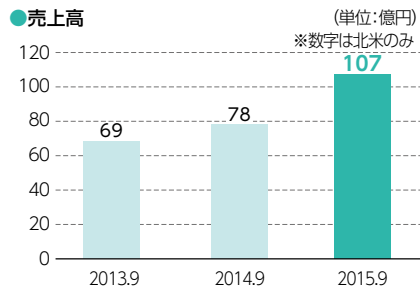


北南米

北南米では各地で受注と完成が相次ぎました。カナダのオンタリオ州では、高層住宅“セントロ・スクエア・コンドス”のエレベータ17台を受注しました。米国ではニューヨークのマンハッタンで高層住宅“マンハッタン・ウエスト”に分速350mの機種を含むエレベータ7台を受注。ヒューストンでは、“シェブロン1400スミス”のエレベータ・エスカレータ計40台のモダニゼーション工事が完了しました。



シェブロン1400スミス(米国)



東アジア

東アジアは中国を中心に事業が加速しました。中国の南昌では、高級ホテル“シャングリ・ラ ホテル南昌”向けにエレベータ・エスカレータ計18台を納入。同じく中国の廊坊では集合住宅“上上城理想新城”のエレベータ132台を受注しました。香港では総合病院“グレンイーグルス・ホンコン・ホスピタル”のエレベータ・エスカレータ計21台を受注しました。

南アジア

南アジアは受注と完成が相次ぎました。マレーシアでは複合施設“ラディア・ブキット・ジェルトン”のエレベータ・エスカレータ計57台の受注に加え、大型複合商業施設“iOiシティ・モール”のエレベータ・エスカレータ・動く歩道計79台を納入しました。ベトナムではホーチミンの“イオンモールビンタン”のエレベータ・エスカレータ・動く歩道計44台を受注しました。

欧州・中東

中東のアラブ首長国連邦(UAE)のドバイでは、住宅専用の建物として、世界一となる“マリーナ106”のエレベータ17台を受注しました。完成すれば地上106階建て、高さは400mを超える高層レジデンスです。同じドバイに建設された教育機関“アミティー大学”のエレベータ・エスカレータ計17台を納入します。



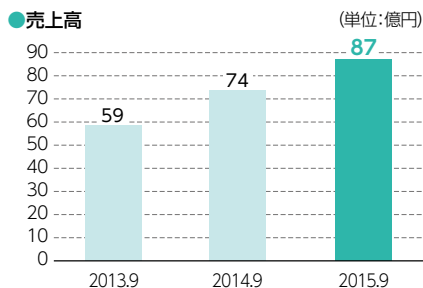
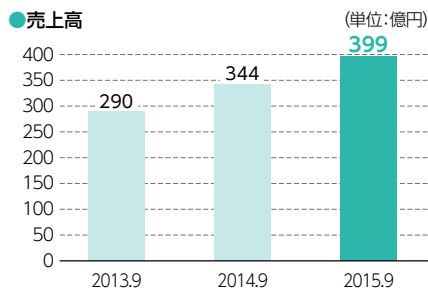
グレンイーグルス・ホンコン・ホスピタル(香港)



iOiシティ・モール(マレーシア)



マリーナ106(UAE)



※売上高のグラフ数値は、調整前の数字です。



「第4回 全国据付・改修技能競技大会」を開催

7月2、3日の両日、アフターマーケットの拠点“ビッグフィット”で「第4回 全国据付・改修技能競技大会」を開催しました。同大会は全国13拠点から選抜された選手の技術向上や人材交流を図ることが目的です。当社の製品を利用される方々に“安全・安心”を心から感じて頂けるよう、フジテックは人材育成に力を入れています。

ドバイの展示会に出展

5月18日から20日までの3日間、アラブ首長国連邦のドバイで開催された展示会「Elevator & Access Control」に出展しました。フジテックのブースには中東エリアをはじめアフリカ各国から数多くのお客様が来場。ブース内では現地社員がこれまでの納入実績を交えながら、当社の強みをアピールしました。



決算説明会を実施しました

5月25日に機関投資家・アナリストを対象にした「2015年3月期決算説明会」を東京本社で開催しました。説明会では当社の事業環境や、業績について説明。出席者からは、今後の業績見通しや事業展開への質問がありました。

サマーフェスティバルを開催

8月7日、滋賀県にある本社「ビッグウイング」で「サマーフェスティバル」を開催しました。今年で通算4回目となるこの催しは、地元自治会の方々や社員同士の交流を目的としたものです。会場にはステージを設置し、さまざまなパフォーマンスで来場者を盛り上げました。



小学生を対象に安全教室を実施

5月と9月に小学生を対象にした安全啓蒙活動の「エレベータ・エスカレータ安全教室」を実施しました。映像やクイズを交えながらエレベータ・エスカレータの正しい乗り方を解説。フジテックはこれからも、子ども向けの安全啓蒙活動を推進します。

文化芸術活動をサポート

人気ピアニスト辻井伸行氏の「《自作&クラシック》オーケストラ・コンサート」に特別協賛しました。コンサートは8月23日の金沢からスタート。31日の長崎公演まで全国6カ所で行われ、観客は辻井氏とオーケストラ・アンサンブル金沢の織り成す演奏に酔いしれました。フジテックは今後も文化芸術活動を応援していきます。



連結決算情報Ⅱ

(単位:百万円)

▶ 連結貸借対照表

	2015年3月31日現在	2015年9月30日現在
●資産の部		
流動資産	132,134	128,289
固定資産	47,722	48,373
有形固定資産	32,885	34,047
無形固定資産	4,311	4,299
投資その他の資産	10,524	10,025
資産合計	179,856	176,663
●負債の部		
流動負債	71,406	70,405
固定負債	3,829	4,111
負債合計	75,236	74,516
●純資産の部		
株主資本	94,512	90,493
その他の包括利益累計額	△1,191	△633
新株予約権	56	61
非支配株主持分	11,243	12,225
純資産合計	104,620	102,146
負債及び純資産合計	179,856	176,663

ポイント①：流動資産

流動資産は前連結会計年度末比38億4,500万円減少しました。これは主に「商品及び製品」同13億2,400万円、「原材料及び貯蔵品」同14億6,700万円の増加に対し、「現金及び預金」が同69億2,300万円減少したことによります。

ポイント②：流動負債

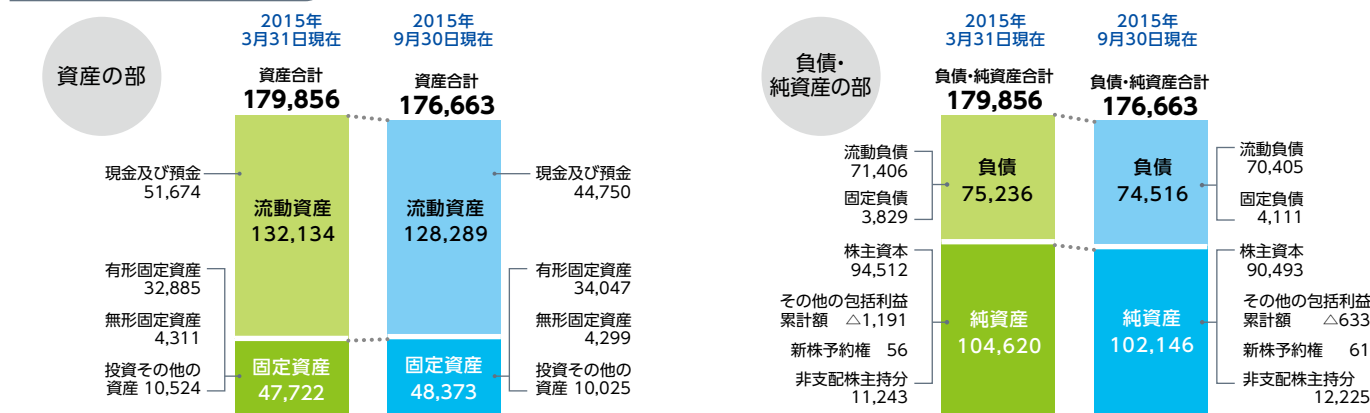
流動負債は前連結会計年度末比10億円減少しました。これは主に「電子記録債務」が同12億8,100万円減少したためです。

ポイント③：株主資本

株主資本は前連結会計年度末比40億1,900万円減少しました。これは主に「利益剰余金」が同35億8,200万円増加したのに対し、「自己株式」を76億6,600万円取得したためです。

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



(注1) 連結子会社は19社であり、持分法適用会社はありません。

(注2) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(単位:百万円)

連結損益計算書

2015年3月期 第2四半期
2014年4月1日～2014年9月30日

2016年3月期 第2四半期
2015年4月1日～2015年9月30日

売上高	73,976	83,728
売上原価	58,217	65,418
売上総利益	15,758	18,309
販売費及び一般管理費	10,483	11,586
営業利益	5,275	6,723
営業外収益	789	805
営業外費用	158	169
経常利益	5,906	7,359
特別利益	84	9
特別損失	23	59
税金等調整前四半期純利益	5,967	7,309
法人税、住民税及び事業税	1,719	1,773
法人税等調整額	34	△62
四半期純利益	4,213	5,598
非支配株主に帰属する四半期純利益	879	965
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,333	4,633

1

ポイント①：売上高

売上高は前年同四半期比97億5,100万円の増収になりました。主な要因は北米、東アジアの増収に加え、為替相場の円安が影響しました。

2

ポイント②：経常利益

経常利益は前年同四半期比14億5,300万円の増益になりました。これは、北米での新設事業の採算改善や東アジアでの増益によるものです。

3

ポイント③：親会社株主に帰属する四半期純利益

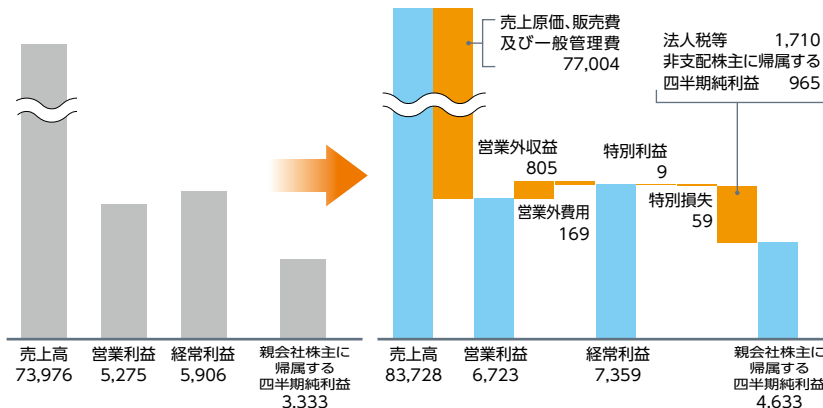
親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比12億9,900万円の増益になりました。

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

2015年3月期 第2四半期
(2014年4月1日～2014年9月30日)

2016年3月期 第2四半期
(2015年4月1日～2015年9月30日)



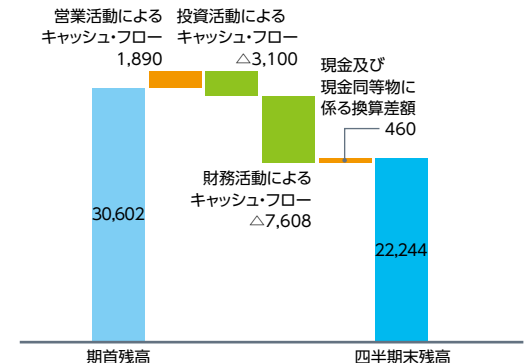
連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

2016年3月期 第2四半期

(2015年4月1日～2015年9月30日)

■ 資金の増加 ■ 資金の減少

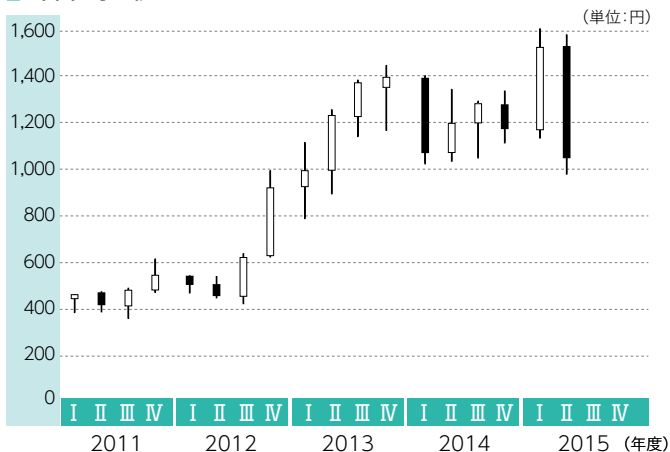


株式の状況

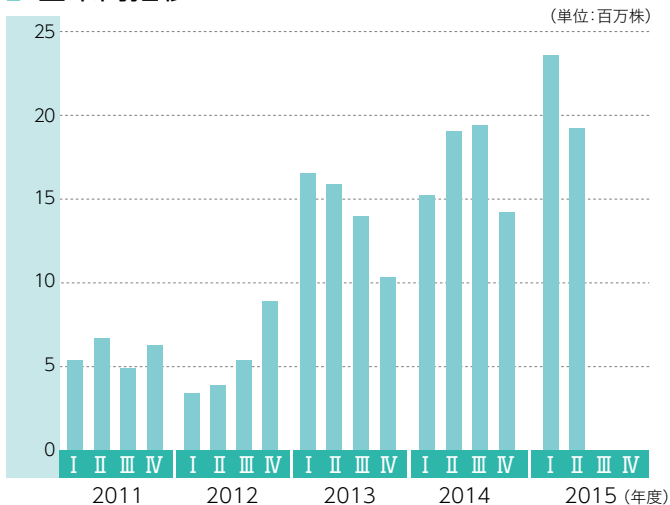
発行済株式の総数	93,767,317株
株主数	4,620名
上場証券取引所	東京証券取引所

(2015年9月30日現在)

▶ 株価推移

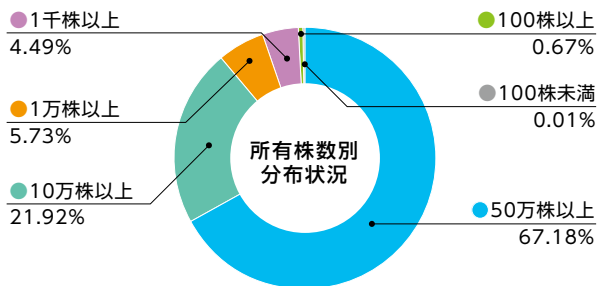
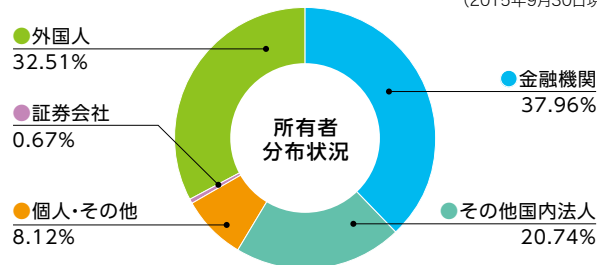


▶ 出来高推移



▶ 所有者分布状況・所有株数別分布状況

(2015年9月30日現在)



▶ 大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
1. 株式会社ウチヤマ・インターナショナル	83,990	10.36
2. CGMI-CLIENT SAFEKEEP 418	44,599	5.50
3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	41,074	5.06
4. 株式会社りそな銀行	40,516	4.99
5. 富士電機株式会社	36,297	4.47
6. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	30,888	3.81
7. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	29,309	3.61
8. ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	25,932	3.19
9. ジェーピー モルガン チェース バンク	385,632	2.97
10. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	21,669	2.67

(注1) 持株比率は2015年9月30日現在の発行済株式総数である93,767,317株から自己株式12,706,351株を除いた81,060,966株を基準に計算しています。

(注2) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)には、従業員持株会支援信託ESOP 667,600株が含まれています。

(注3) 当社は自己株式12,706,351株を所有しておりますが、上記の大株主(上位10名)の中には含まれていません。

▶ 会社の概況

設立 1948年2月9日
 資本金 125億3,393万円 (2015年9月30日現在)

▶ フジテック・グループ

日本	本社 ビッグウイング 東京本社	滋賀県彦根市宮田町591-1 TEL(0749)30-7111 東京都港区三田3丁目9-6 TEL(03)4330-8200
北米	アメリカ カナダ グアム	FUJITEC AMERICA, INC. FUJITEC CANADA, INC. FUJITEC PACIFIC, INC.
南米	ベネズエラ アルゼンチン ウルグアイ	FUJITEC VENEZUELA C.A. FUJITEC ARGENTINA S.A. FUJITEC URUGUAY S.A.
欧州	ドイツ イギリス	FUJITEC DEUTSCHLAND GmbH FUJITEC UK LTD.
中東	サウジアラビア エジプト アラブ首長国連邦	FUJITEC SAUDI ARABIA CO., LTD. FUJITEC EGYPT CO., LTD. FUJITEC UAE
南アジア	シンガポール フィリピン マレーシア インドネシア インド ベトナム タイ スリランカ	FUJITEC SINGAPORE CORPN. LTD. FUJITEC, INC. FUJITEC (MALAYSIA) SDN. BHD. P.T. FUJITEC INDONESIA FUJITEC INDIA PRIVATE LTD. FUJITEC VIETNAM CO., LTD. FUJITEC (THAILAND) CO., LTD. FUJITEC LANKA (PRIVATE) LTD.
東アジア	香港 台湾 韓国 中国	FUJITEC (HK) CO., LTD. 富士達股份有限公司 FUJITEC KOREA CO., LTD. 華昇富士達電梯有限公司 上海華昇富士達扶梯有限公司 富士達電梯配件(上海)有限公司 上海富士達電梯研発有限公司

▶ 役員

取締役	代表取締役社長	内山 高一
	代表取締役副社長	関口 岩太郎
	取締役	ナラヤナピレー・スグマラン
	取締役	岡田 隆夫
	取締役	重兼 壽夫
	取締役	花川 泰雄
	取締役	佐伯 照道

監査役	常勤監査役	野木 正彦
	常勤監査役	石川 賢一
	監査役	北川 由雄
	監査役	中野 正信

執行役員	執行役員社長	内山 高一*
	執行役員副社長	関口 岩太郎*
	専務執行役員	ナラヤナピレー・スグマラン*
	専務執行役員	岡田 隆夫*
	常務執行役員	津山 圭二
	常務執行役員	奥田 勝次
	常務執行役員	加藤 義一
	常務執行役員	浅野 隆史
	執行役員	梶田 順司
	執行役員	井上 治男
	執行役員	多川 正弘
	執行役員	原田 政佳
	執行役員	内山 泰行
	執行役員	筒井 邦彦
	執行役員	宇都宮 靖雄
	執行役員	伊豆原 久男
	執行役員	早瀬 昭彦
	執行役員	土畑 雅志
	執行役員	友岡 賢二

*は兼務しています。(2015年9月30日現在)

■ 株式についてのご案内

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載することといたします。
ホームページアドレス：<http://www.fujitec.co.jp/koukoku/>

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内1丁目4-1 三井住友信託銀行株式会社

- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

■ 軽減税率廃止に関するご案内

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%・住民税3%)は廃止され、本来の税率20%(所得税15%・住民税5%)になりました。

「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」の施行に伴い、2013年1月1日から2037年12月31日までの間に支払われる配当金につきましては、その所得税額に2.1%を乗じた額が「復興特別所得税」として追加課税されています。

【個人株主様への配当金に対する源泉徴収税率】

	所 得 税	復興特別所得税	住 民 税	合 計
2014年 1月 1日～ 2037年12月31日	15%	0.315%*	5%	20.315%
2038年 1月 1日～	15%	—	5%	20%

※15%×復興特別所得税率2.1%=0.315%

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度、「配当金計算書」を同封させていただきます。

※確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

フジテック株式会社